

なるる 住宅用火災警報器 電池10年式〈音声タイプ〉

取り付け後約10年が経過した住宅用火災警報器はありませんか？

住宅用火災警報器の交換の目安は約10年です。取り付け後約10年が経過した場合には、お早めの交換をおすすめします。また10年に満たない場合でも、電池切れ、警報器の異常・警報器の故障のお知らせが出た場合は、ご使用期間にかかわらず、お早めの交換をおすすめします。（取り付ける環境によって、交換までの期間は異なります。）

薄型タイプ

設置場所を選ばない薄型・丸型タイプです。

LEDランプ点滅

赤色LEDで火災をお知らせ

音声アナウンス

聞こえやすい大音量で火災をお知らせ

自動試験機能

煙・熱感知部の感度が劣化したときは、音声警報と表示灯で異常をお知らせします。

電池切れ警報遅延機能

夜間に電池切れ警報を出にくくする機能を搭載。

交換時期メッセージ機能

電池コネクタ接続後10年を越えると、機器の交換をおすすめするメッセージが鳴動します。

自己復旧機能

警報器内の煙・熱がなくなると火災警報を繰り返しますが、煙・熱がなくなると自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻ります。

感度補正機能(煙式のみ)

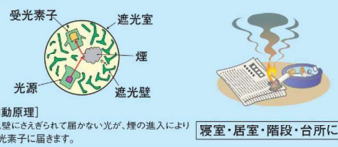
煙感知部の汚れを常時監視し、自動的に感度を補正し正常な感度を保ちます。

●寝室と階段は必ず煙式(光電式)を取り付けます。

●台所にも原則煙式ですが調理の煙による誤報の発生が心配される場所には熱式を取り付けてください。

煙式(光電式)

光の反射を利用して火災の煙を見つめます。火災を早期に見つけることができるので、住宅には最適です。



【煙式の作動原理】
平常時遮光壁にさえぎられて届かない光が、煙の進入により反射され受光素子に届きます。

寝室・居室・階段・台所に

熱式(定温式)

火災警報器の周囲の温度が異常に高くなると作動します。おおよそ65℃で感知します。調理中の煙などが発生する台所などで煙式を取り付けられないところに適しています。



調理の煙による誤報の発生が心配される台所等

住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

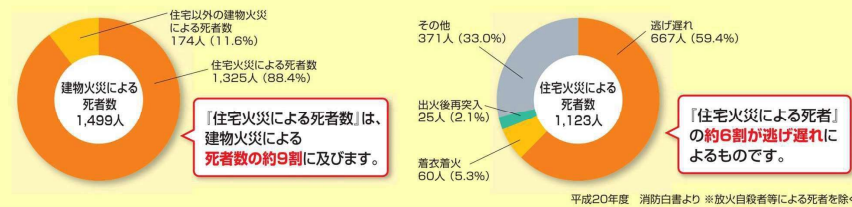
新築住宅

平成18年
6月1日から

既存住宅

平成23年6月
全国で義務化

住宅火災の現状と住宅用火災警報器等の効果



住宅用火災警報器等の効果



米国での普及状況



移報接点なし

煙式



電池10年煙式(光電式)

TKRM-10

¥5,500

- 煙式(光電式2種)
- 電源:専用リチウム電池 (電池寿命約10年 注1注2)
- 屋内専用 天井・壁取付兼用
- 単独形 ●感度補正機能搭載
- ホワイト色 ●●50(1)

注1) 電池寿命は使用環境によって短くなることがあります。
注2) 警報器交換の目安は10年です。電池切れの際は警報器の交換をおすすめします。

熱式



電池10年熱式(定温式)

TCRM-10

¥5,200

- 熱式(定温式)
- 電源:専用リチウム電池 (電池寿命約10年 注1注2)
- 屋内専用 天井・壁取付兼用
- 単独形
- ホワイト色 ●●50(1)

2階建て戸建て住宅では

